
Muse over past memories

吹上 香

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Muse over past memories

【Nコード】

N7783L

【作者名】

吹上 香

【あらすじ】

またもや、失恋ネタ

前回より重いです……。

死別の方が正しいかもです。

(前書き)

地味に相手は自殺しますよ、失恋っていうより死別の方が正しいです…

過去を思い出してみただ…

『君と仲良くし始めたのも私君のメールアドレス聞いたのも私君の電話番号を聞いたのも私君の好意を持ち始めたのも私君に好きって言ったのも私君に執拗に迫ったのも私君に愛してるって言ったのも私互いの住所を先に知ったのも私君を抱き締めたのも私君を押し倒したのも私』

ねえ、君は何を私にすることをしたっけ？

ああ…、私と別れたのは君私のこと嫌いって言ったのも君私のこと否定したのも君だけど私とつきあってって頼んだのは君だったね…
ねえ、どうして？』

『…』

『君は…幸せだった？
私と一緒にいて幸せだった？』

『幸せだったよ…
ありがとう…』

そういうと僕の方を向き笑顔で…何かを言ったんだ…

いきなりだったんだ…

彼女は飛び降りた…

僕が手を伸ばした時には遅かった…

恐る恐る、下を見ると……………

目を見開き、深呼吸を数回した

「僕を否定したのは君だろ……………？」

だって、君はあの時こう言ったじゃないか……………」

『未来の君の事なんて、見たくないんだよ……………』

否定したのは君の方好きって言ったのは僕の方……………

f i n .

(後書き)

なんか、最後をまとめるのって至難の技ですね…

閲覧ありがとうございます。

前回の投稿作品より重くヤンデレなお相手に行ってみました…

重すぎでしたかね…

案外私はこの位の恋愛が理想的です。

因みに、私は重い女って言われます…

どうでもいいですけどね

閲覧ありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7783/>

Muse over past memories

2010年10月11日04時05分発行